

舞鶴発電所における石炭灰の棧橋および海への落下について

2021年7月19日

関西電力株式会社

本日8時35分頃、当社の舞鶴発電所（京都府舞鶴市）において、石炭灰※を運搬船へ積載する準備作業中に、石炭灰を送り出すための空気を供給する配管が外れ、石炭灰の一部が棧橋および海に落下していることを確認しました。

※燃料の石炭を燃やしたあとに発生する灰

今回予定していた石炭灰の積込み開始前に発生しており、何らかの理由で配管内に残存していた石炭灰が落下したものと想定しています。また、設備の位置関係から、大半は棧橋上に落下し、その一部が海上に漏れ落ちたため、海に落下した石炭灰は少量と考えています。

原因については調査中です。

なお、本事象に伴う、人的被害や二次的な設備損壊は発生しておりません。
また、発電への影響もありません。

地元の方々をはじめ、関係者の皆さまにご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。

<参考：舞鶴発電所の概要>

ユニット	営業運転開始	出力	発電方式	使用燃料	運転状況
1号機	2004年8月	90万kW	汽力発電	石炭	運転中
2号機	2010年8月	90万kW	汽力発電	石炭	運転中

所在地：京都府舞鶴市字千歳560番地5

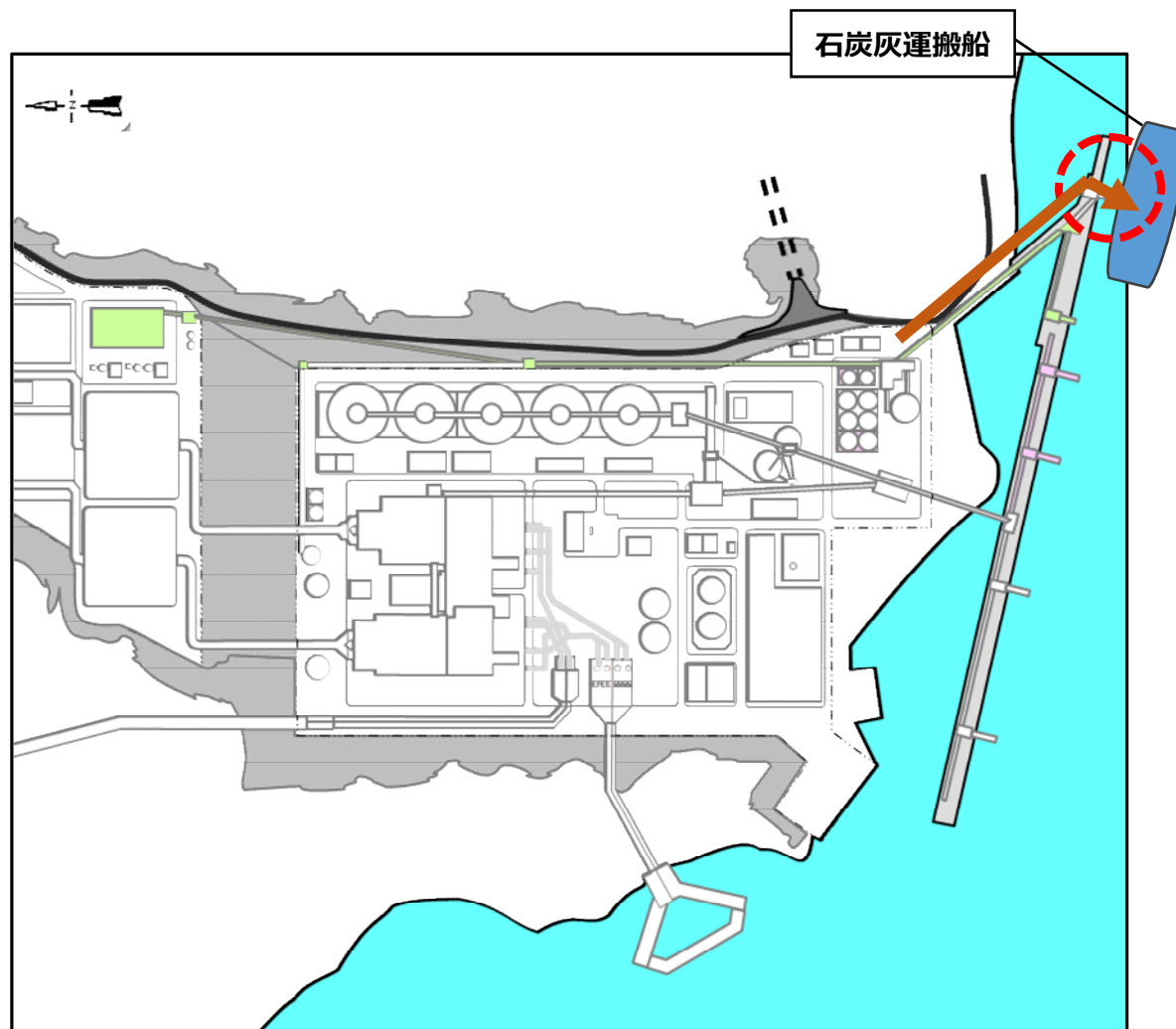
以上

添付資料：舞鶴発電所における石炭灰の棧橋および海への落下について

舞鶴発電所における石炭灰の棧橋および海への落下について

<概要>

本日、舞鶴発電所において、石炭灰を運搬船へ積載する準備作業中に、石炭灰を送り出すための空気を供給する配管が外れ、石炭灰の一部が棧橋および海に落下したものと見られる。



→ 石炭灰の経路



石炭灰落下箇所



外れた配管

・空気を供給する配管が脱落し、石炭灰の一部が棧橋および海に落下

<発生箇所全体図>

